



やのまひか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：山本章吾 幹事：金田 柁宏 SAA：山田久就 会報委員長：笠原盛泰
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度 17 回 通算第 996 回 平成 18 年 11 月 7 日 (火) 晴

ゲスト 藤田守彦さん (地区ロータリー財団副委員長・名古屋西南 RC)
 ビジター (なし)
 出席報告 高木修委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	10/24 修正出席率
55 名	48 名	29 名	58.3%	89.6%

司会進行 山田久就 SAA

会長の挨拶及び報告 山本章吾会長

こんにちは。朝晩めっきり冷えて本格的な秋が深まって参りました。

まず報告事項です。来月 12 月 5 日は、本年度の年次総会となっております。クラブ細則第 1 条第 1 節により、次年度の理事及び役員候補者をクラブの決定する指名委員会より指名を受けます。つきましては、本日の理事会で承認決定されました指名委員会メンバーについて発表をさせていただきます。宜しくお願いします。

それから、おめでたい報告事項です。昨日の新聞でご承知だと思いますが、豊川工業高校男子陸上部が、11 月 5 日行われた愛知県駅伝大会で 9 回連続の優勝をされ、12 月に都大路で行われる全国大会への出場が決まりました。一昨年は 2 位、昨年は 3 位だったので、今年は優勝を期待をしたいと思います。

それからもうひとつ、同じ 11 月 5 日に、幸田サーキットにて開催された、エコカーの全国大会で、山田久就会員のチームが優勝をされました。表彰状とメダルを本日お持ち頂きましたのでご披露申し上げます。おめでとうございます。

今月 11 月は、ロータリー財団月間です。本日の例会はロータリー財団の担当例会で、地区の副委員長をお努めの藤田様にお越し頂いております。後ほど卓話を頂きたいと思っております。ご静聴よろしく申し上げます。

幹事報告 金田柁宏幹事

次回例会について

委員会報告

(なし)

ロータリー財団担当例会

委員長あいさつ 近田邦満委員長



こんにちは。11 月はロータリー財団月間でございます。地区のロータリー財団委員会の藤田守彦副委員長様をお迎えして

の例会です。それでは、よろしく申し上げます。

卓話 藤田守彦地区 R 財団副委員長

こんにちは。地区のロータリー財団の副委員長の藤田です。よろしく申し上げます。本来ですと委員長が訪問できるとよろしいのですが、11 月はロータリー財団月間で、各クラブよりご依頼を受けておりますので、委員長と副委員長とで分担して訪問をさせて頂いて

おります。

本日の訪問に当たりまして、豊川宝飯クラブさんのホームページを見させて頂きました。昨年創立 20 周年の折に、ロータリー財団にご寄付を賜りまして誠にありがとうございます。遅らせながら御礼を申し上げます。

ロータリー財団は非常に複雑であると良く言われるのですが、ロータリー財団は大きく 3 つのプログラムがあります。教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオ・プラス・プログラムでございます。



教育的プログラムは、ロータリー財団奨学生や研究グループ交換 (G S E) プ

グラムに使われます。人道的補助金プログラムは、地区補助金、個人向け補助金に使われます。最後のポリオ・プラス・プログラムですが、これは昨年で終わっていると思われている方が見えますが、まだまだ発展途上国にはポリオが蔓延しておりまして、ここ数年はまだ続くと思います。

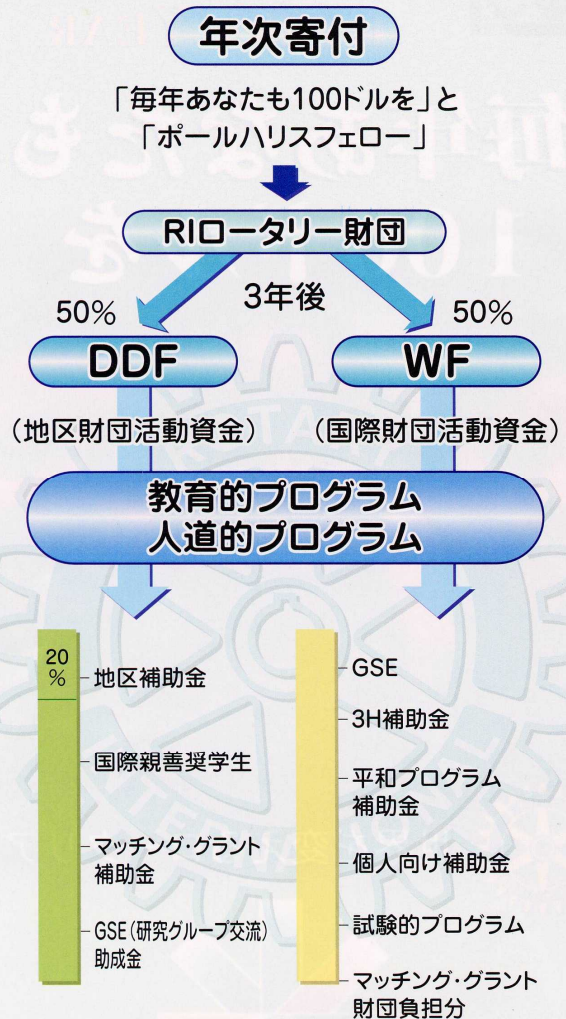
それにあわせまして、地区のロータリー財団委員会は、7つの委員会で構成されています。まずお金を集めの委員会が、年次寄付委員会、恒久基金委員会、ポリオ・プラス委員会です。一般的に寄付と言いますと、差し出すだけで戻ってきませんで、出すと戻ってくるのがロータリー財団の特徴でございます。お金を使わせて頂く委員会が、補助金委員会、財団奨学委員会、研究グループ交歓委員会、財団学友委員会です。

年次寄付というものは、ポールハリス寄付が代表されます。ロータリー財団のプログラムを継続させるための寄付です。集めて3年後に使います。毎年、地区は年次寄付の目標額を設定しております。その目標に対して努力をしております。2001 年より毎年ひとり 100 ドルの寄付を目標額にさせて頂いております。恒久基金は、ベネファクターが代表されます。豊川宝飯 R C さんは、2 名の方がベネファクターだと聞いております。これは、集めて貯えまして、それをロータリー財団が運用して、その利益を我々ロータリアンに還

元するのです。年次寄付は現在の我々のプログラムの活動を支えまして、恒久寄付は未来のプログラムを安定させたものにするものです。恒久基金の元金は使わずに貯えておきます。恒久基金もおひとり 1000 ドルを目標にお願いをしておりますが、金額はいくらでもかまいません。当地区は現在、695 名のベネファクターの方がおみえで、ポールハリスフェローの方よりは、はるかに少ないです。是非ともベネファクターへのご協力をお願い申し上げます。

それでは、ここで D V D をご覧頂きたいと思えます。ロータリー財団プログラムとして、どのようにお金が使われているのか紹介しております。ご覧になって頂きましてご理解を頂きたいと思えます。(財団の D V D を鑑賞)

<1> 寄付の流れ



集められたお金は、シェアシステムと申しまして、我々のところに戻ってきます。戻ってどのように使われるかと申しますと、ひと

つはロータリー財団の奨学生でございます。1~2年海外へ留学する費用です。そしてGSEの活動の費用です。これは、ふたつの国がペアになり、ロータリアン以外の事業や専門職に携わる25~40歳の4名とロータリアン1名を加えて、交換をして国際理解、親善、友好関係を高めます。そして一番のお勧めは、地区補助金の費用です。この補助金の条件は、継続事業でなく、年度1回限りの事業で、ロータリアンも一緒に活動するのが条件になります。ちなみに今年度は、526万円を10クラブへ還元しました。紹介しますと、名古屋みなとRCが、ダオスの防災支援ということで、救急救命の実務教育と消防車の寄贈をするということで、地区から112万5千円の補助金を出しました。田原パシフィックRCが、赤羽根学園の児童と心と心のふれあい事業ということで、48万5千円を地区から補助しました。名古屋大須RCが、大須史跡めぐりということで、40万円出しました。名古屋大須RCは毎年、申請がされまして補助をしております。ですから内容さえ変えて頂ければ、毎年補助金を出すことが可能になります。名古屋昭和RCが、都会に森をつくるということで、100万円の補助金を出すことが決まっております。是非とも貴クラブにおかれまして、申請をして頂きまして、地区補助金を使って頂きたいと思っております。

私の所属している名古屋西南RCは、12年前にできました。入会当時は何もわからず、とにかく寄付をしろと言われてましたので、第1回目は入会早々に1000ドル寄付しました。2回目は6年前に胃の手術をしまして、その時に皆さんからお見舞金を頂きまして、全快祝いをしまして少しお金が余ったので、1000ドル寄付しました。3回目は、4年前にクラブ幹事をしました。その時にベネファクターが少なかったため、会長と幹事のふたりでベネファクターの寄付をさせて頂きました。次は、この地区ロータリー財団委員会をやめるときに寄付をしていこうかと思っております。是非みなさんも何かの機会がありましたらご寄付をお願いしたいと思います。

ロータリー財団はお金を頂きますが、



シェアをして皆様に大いに還元をしたいと思っております。是非とも皆さんのお力をお借りしたいと思っております。ご静聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

誕生日祝い

鈴木 博会員

水野太一会員 信子夫人

柴田浩志会員

磯 隆俊会員

結婚記念日祝い

大島嗣雄会員 ご夫妻

浅野 桂会員 ご夫妻

事業所創業祝い

高桑 耐会員 朝日開発(株)平尾CC

林 博宣会員 (株)トラベル東海

小野喜明会員 (株)トヨテック

種井映二会員 豊川信用金庫

入会記念日祝い

高桑 耐会員

高木 修会員

その他

藤田守彦さん

近田邦満会員

夏目雅康会員

滝下 勲会員

柴田浩志会員

林 博宣会員

山田久就会員

水野太一会員

大木健市会員

原田邦夫会員

加山昌弘会員

柴田浩志会員

大島嗣雄会員

高桑 耐会員

林 博宣会員

小野喜明会員

財団のご寄付を宜しく

藤田様をお迎えして

豊川工業の全国大会に

出場します

〃

〃

エコカー全国優勝しました

誕生日を祝って頂き

〃

〃

〃

〃

結婚記念日を祝って頂き

事業所創業を祝って頂き

〃

〃

次回例会のお知らせ

とき 11月21日(火) 12:30~

ところ 豊川商工会議所

内容 地区大会報告例会

会報担当者：笠原盛泰会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。